

授業科目 音韻障害Ⅰ（機能）

【担当教員名】 糟谷政代		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期 a	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 機能性構音障害に関する症状や発生メカニズムを知り、必要な検査・診断・評価法や情報収集について学習する。個々の症状にあった指導計画や訓練について理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 機能性構音障害に関する基礎知識・構音検査法・診断・評価法・指導訓練方法などについて学習し、これらの指導学習計画立案などを学習する。。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	構音障害の概念 構音の発達の過程				講義
2	発声発語器官の形態と機能、音声表記法				講義
3	発声・発語器官の形態と機能の検査法				講義
4	機能性構音障害の定義、機能性構音障害の種類と原因				講義
5	必要な情報の種類と収集法				講義
6	機能性構音障害の検査法と診断・評価				講義
7	発達・心理・社会的側面の検査				講義
8	テスト				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		機能性構音障害・言語聴覚シリーズ7	本間慎治/編著	建帛社	2,625円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
レポート 10					
授業態度 10					
試験 80					